

陳 春紅 (令和2年度 第3期生)

株式会社アイシン グループ技術開発本部材料技術部 主任



【現在の仕事内容】

私は、株式会社アイシン(2021年統合)で技術開発の業務に従事しています。現在は電動化急加速対応でモーター材料(磁性材・絶縁材)のベンチマーク活動をはじめ、グローバル視点で絶縁材料の技術確立から号口採用までの材料開発を行っています。設計部署・生産技術部署・調達及び国内外の材料メーカーと連携しながら、多岐にわたる仕事を推進するポジションであり、技術専門知識のみではなくコミュニケーション力・マネージャー力等が必要とされます。時代に乗り遅れないように新しい技術や進化を積極的に受け入れ、自分たちの開発した技術を用いた自動車が国内外のどこかで走っていることを誇れるように精進しています。

また、企業の一員として、自分は、ダイバーシティな技術者としての面を併せ持ち、すくない母集団に対し「道」を照らす役割もあると思います。社内だけでなく、多くのリケジョ仲間を生み出すべくと想いながら、今年から理系女性リクルート活動への協力も取り組んでいます。

【中部WINとの思い出】

企業・業種を超えて初めて出会ったメンバー達と課題設定からともに悩み、知恵を絞り、意見を出し合い、お互い協力して成果報告をまとめたプロセスを経験し、学ぶことや気づきの多い有意義な半年間でした。研修期間が短く、メンバーたちの自主活動(新型コロナの影響からZOOM、LINE等の活用)を通じ、最終報告に仕上げる為の工数確保に苦労しました。また、皆さまのコミュニケーション力が高くチームビルディング等は意識しないうちに自然にできていたことがとても印象に残っています。

第3期中部WINや第4期サポーターを通じ、個性豊かなメンバーたちと出会い、他社女性社員の実態や悩みを知るとともに、多くの意見や価値観に触れることができ、良い刺激を受けることができました。

今後、中部WINで得られた知見を仕事に生かしつつ、SNS会話にとどまらず、横のつながりをより大事にしていきたいと思っています。

【活躍を志す仲間へのメッセージ】

ライフイベントとキャリアの重大な局面が重なりがちなので、モチベーションを落とさない工夫が必要だと思います。走り続けている中、どんな時でも自分が楽しむ事で前向きなエネルギーが得られます。望みどおりに行かない時こそ、自分の成長につながるチャンスとポジティブに捉えていくことが大切です。私の場合、その時に自分の弱さが分かり、自分の気の持ちようで良い方向に変われることを肌で感じました。

それぞれの立場・個性が違う中で、「違い」を前提に関わり合うとより分かり合えると思います。自分の思いや考えは自分から声をあげて発信し、そこから会話・コミュニケーションにつながると考えています。



EV用駆動ユニット(eAxle)



FRハイブリッド

我々の材料開発に関わるモーター搭載のEV・HEV用駆動ユニット(アイシンHPより抜粋) (令和4年1月現在)